

town topics

まちの話題

このコーナーは、町の話や活動などを紹介しています。情報があれば、市役所秘書広報課まで。

☎ 22・3111 内線 207



甘いイチゴに笑顔いっぱい

芳田小1年生がイチゴ狩りを体験

1月11日 明楽寺町・篠田いちご園

芳田小1年生15人が篠田いちご園に招待されイチゴ狩りを体験。新鮮なイチゴをたっぷり頬張り、「甘くておいしい」「おなか破裂しそう」と大喜びで、30個以上食べた児童もいました。開園以来毎年招待を続けているの代表の篠田重一さんは「子どもたちの笑顔を見るとイチゴ栽培をやってよかったと思う。来年も続けたい」と話されました。



松飾りなどに点火する子どもたち

市内各地で「とんど焼き」

1月13日 杉原川河川敷

市内各地で地区や自治会を単位として、正月の火祭り行事「とんど」が行われました。

西脇区では地区住民およそ500人が松飾りやしめなわ、書き初めなどを杉原川河川敷に持ち寄り、小学生10人がたいまつで点火しました。また、参加者には西脇区コミュニティー推進協議会がぜんざいを振る舞いました。



第2部の同窓会、友人との久々の再会に大にぎわい



429人の新成人を代表して「二十歳の決意」



第1部の武典に参加する新成人

「東京西脇多可の会」が発足

1月22日 ルポール麴町（東京都千代田区）

首都圏在住の西脇市と多可町の出身者が集い、「東京西脇多可の会」の初めての総会・懇親会がありました。同会は西脇市出身者が中心だった東京西脇会を改組して発足、多可町出身の21人が新たに加わり164人となりました。総会では来住壽一市長や多可町長がふるさとの近況を報告、続く懇親会では会員同士の親睦を図りました。ご加入希望の方は市秘書広報課まで…。



出席者全員で記念撮影

夢に向かって二十歳の門出

1月13日 アピカホール・西脇ロイヤルホテル

平成25年成人式を開催、429人が新たに大人の仲間入りをしました。成人式は運営委員の新成人8人が中心となり企画。第1部式典では運営委員長のあいさつに始まり、2人の新成人が「二十歳の決意」を述べました。第2部同窓会では、恩師からのビデオレターに会場が沸き、友人との久々の再会に大いにぎわっていました。



成人式の企画・運営は新成人が担当



新年に筆を走らせる子どもたち

旧来住家住宅で書き初め大会

1月5日 旧来住家住宅

新春恒例の書き初め大会が催され、およそ50人の子どもたちが筆を走らせた。

5歳児から中学生まで学年ごとに設定された「もち」「希望の光」「新たな決意」などの課題に取り組みました。参加者には焼き芋が振る舞われたほか、作品を手「にっしー」と記念撮影も行われました。



被災地で活動した服装を見せる西脇北高校生

1.17メモリアル交流会を開催

1月17日 西脇南中学校

阪神淡路大震災から18年が経過した日に、西脇南中学校では西脇北高校と「1.17メモリアル交流会」を開催し、両校生徒が東日本大震災の被災支援活動を報告しました。西脇北高校で被災地での2回にわたるボランティア活動を、西脇南中学校では震災遺児支援拠点設立のための募金活動を通じ「人と人とのつながりの大切さ」「継続支援の必要性」を訴えました。



オザワ繊維株式会社の展示

地場産業・播州織の魅力を表示

3月31日まで 西脇市役所1階ロビー展示ケース

3月末まで「ハイエンド・ハイクオリティ」をコンセプトに、播州織の高度な技術とハイレベルな素材を融合させたオザワ繊維株式会社の商品を展示。光沢感と独特の風合いを生み出すシルクと綿の交織、加古川の水質を活かして鮮やかに染め上げる染色技術、ヨーロッパの大手ブランドから高い評価を得ている加工技術など、産地ならではの質の高い伝統技術をお楽しみいただけます。



年末の準備でにぎわう市

軽トラ市で「黒っこふれあい広場」をお披露目

12月23日 黒っこふれあい広場

歳末恒例の「喜多市」に合わせて、黒田庄まちづくり住民会議が「軽トラ市」を開催。年越しの準備に多くの方が訪れました。会場では、地元の「えき益ゆうき」による野菜、比延地区まちづくり協議会による「ひょうたん焼き」の販売も行われたほか、子どもたちにはバルーンアートが人気でした。また、黒田庄総合事務所跡の「黒っこふれあい広場」のお披露目がありました。